

問題

写真やスキャンした図面等のラスターデータ (bmp、tif、jpg 等) を、図面内に配置する手順を知りたい。

対象製品

「V-nas」シリーズ全般

回答

『イメージラスター配置』または『ラスター2点配置』コマンドをご利用下さい。

操作手順

対象コマンド：

[V-nas 標準モード]：[作図] タブ - [イメージ] カテゴリ - 『背景配置/ラスター2点配置』コマンド

[V-nas クラシックモード]：『イメージラスター配置/ラスター2点配置』コマンド

[V-nas 専用 CAD]：『背景-配置/2点配置』コマンド

方法1：『イメージラスター配置』コマンド（ラスターデータを、作業中の図面に背景として配置します。
配置した画像の大きさはラスターデータのサイズの情報を参照しています。）

方法2：『イメージラスター2点配置』コマンド（ラスターデータの2点と、図面上の2点の情報から配置します。
配置の際、ラスターファイルを拡大・縮小、及び回転して貼り付けます。）

方法1：『イメージラスター配置』コマンドでの作業手順

- 1、『イメージラスター配置』コマンドを実行します。
- 2、【開く：ダイアログ】が表示されますので、配置したいラスターデータを選択してください。
- 3、配置基準点を、マウスの左クリックで指示します。ラスターデータを配置する際、図面サイズ情報が含まれていない場合、【背景のサイズ：ダイアログ】が表示されますので、表示サイズを入力します。

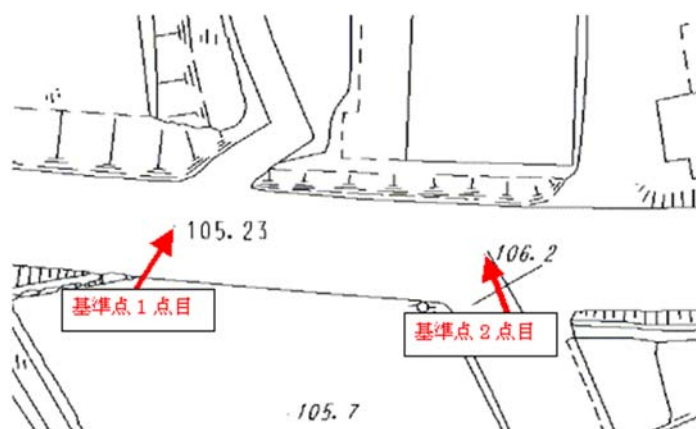
ラスターデータの解像度(ドット/インチ)単位で入力すると、縦横のサイズが再計算されて表示されます。
解像度が空欄の場合は、エクスプローラからラスターデータのプロパティで解像度を確認してください。

ラスターデータの大きさを縦横 mm 単位で入力した場合は、解像度が無視され、入力値により縦横比が変わる場合がありますのでご注意ください。

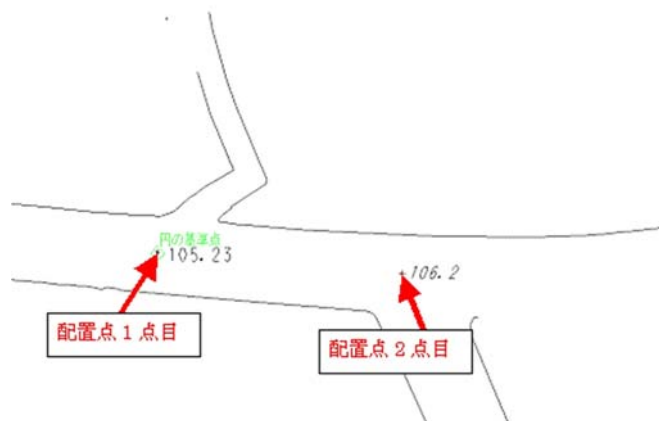
- 4、図面に戻りますので、配置位置をマウスの左クリックで指示します。
- 5、【開く:ダイアログ】が表示されますので、続けてラスターデータを配置しない場合は[キャンセル]ボタンで終了させてください。

方法2：『イメージラスター2点配置』コマンドでの作業手順

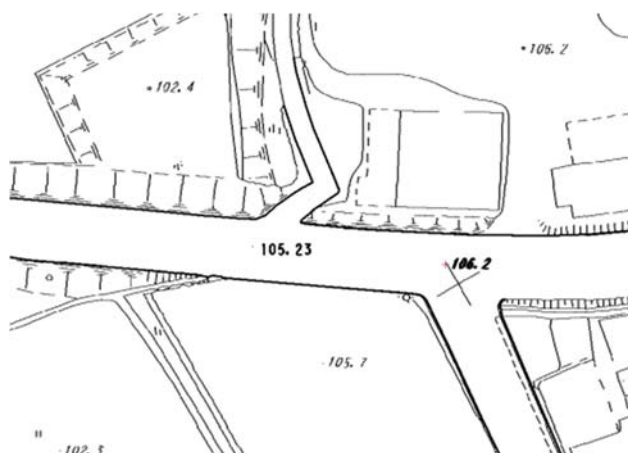
- 1、『イメージラスター2点配置』コマンドを実行します。
- 2、【開く:ダイアログ】が表示されますので、配置したいラスターデータを選択してください。
- 3、ラスター上で、図面に重ね合わせたい点（基準点）を指示します。基準点の1点目、基準点の2点目を指示します。ラスターには、端点などの構成点はありませんので、クリックした箇所が選択した点となります。



- 4、図面に戻りますので、先ほどの基準点を重ね合わせたい点を指示します。配置点の1点目、配置点の2点目を指示します。



- 5、【開く:ダイアログ】が表示されますので、続けてラスターデータを配置しない場合は[キャンセル]ボタンで終了させてください。

**注意：**

- bfoファイルで保存する場合、ラスターデータがファイル内に保存されるのではなく、配置情報(パス)が保存されています。従って配置後、ラスターデータの名称やフォルダ変更・削除を行うとパスが変わってしまうため表示されなくなります。その場合、専用CADシリーズで作業している場合は『背景-属性変更』コマンド、V-nas Clair/V-nas Ver2012.00以降で作業している場合は『編集-変更』コマンドでパスを変更してください。
- V-nas Clair/V-nas Ver2014.00以降の場合は、『ファイル-名前を付けて保存』コマンドからbfoxファイルで保存する事により、参照しているラスターデータ(bmp、tif、jpgなど)と外部参照ファイルをまとめて1ファイルで保存できます。